

15分で学ぶ！ 障がい者支援の基礎

～知的障がい者にもっと寄り添う個別面談～

第一回 「利用者意向の把握」

講義の流れ

今回の講義は・・・

まず

①

「利用者意向
の分かりづらさ」
について

次に

②

「自己決定と
意思決定支援」
について

そして

③

「ニーズ把握の
困難な利用者」
について

最後に

④

「複数で
合議する」
について

・・・お話しします。

利用者意向の分かりづらさ

- 本人の言っているのが分かりにくい
- 会話できるが意味が分からない
- コミュニケーションが出来るが自分で決められない
- 判断する力が弱い
- 抽象的な内容を理解できない
- 気持ちが直ぐに変わってしまう
- 自分勝手に判断して行動する
- コミュニケーションが広がらない

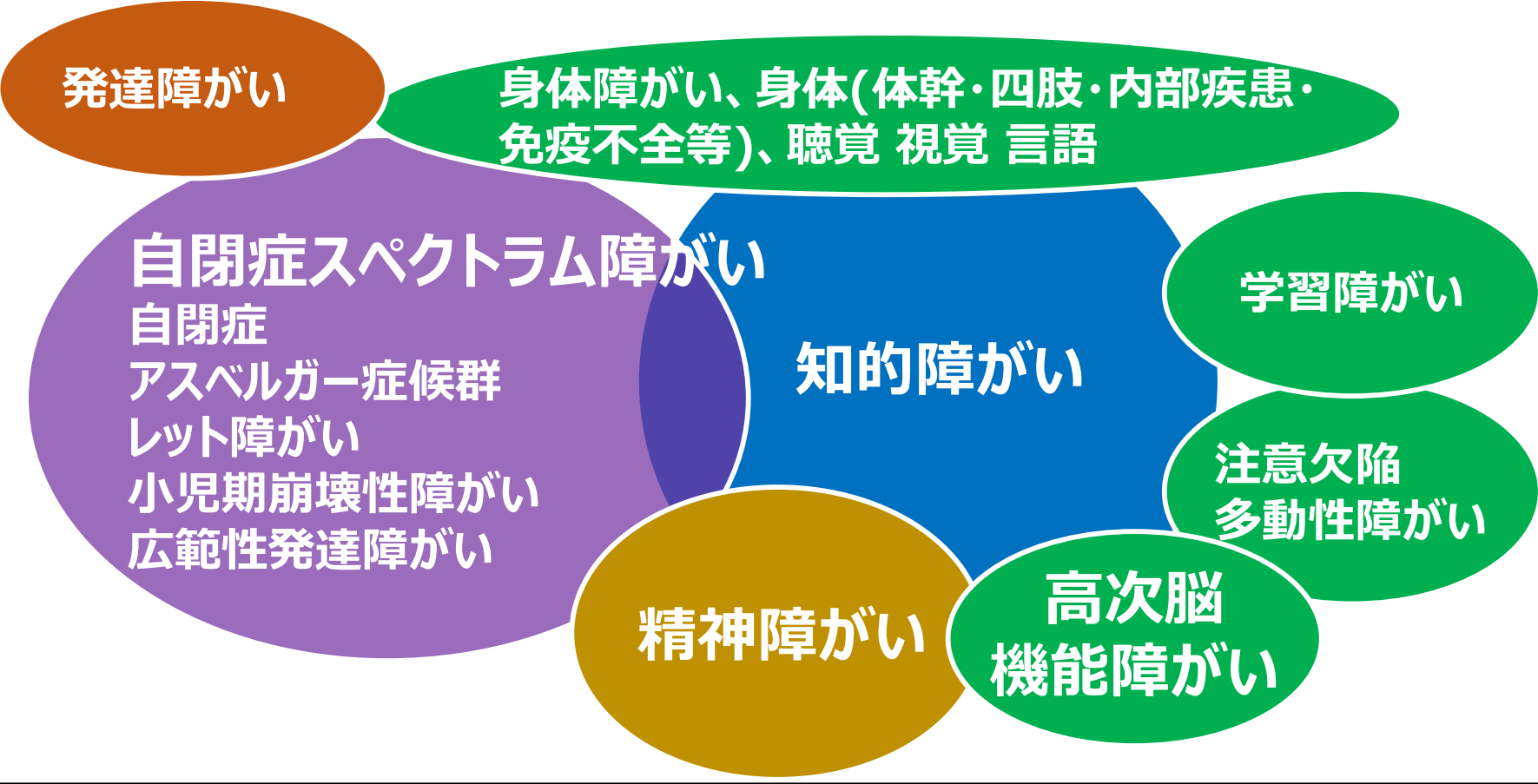
知的障がいの特徴

- 言語表現が苦手
- 物事の理解が苦手
- 身につけるまでに時間がかかる
- 記憶することが苦手
- コミュニケーションが苦手

➡状況判断や自己決定が苦手

- ① 自分の思い通りになると思ってしまう
- ② 理由がわからない
- ③ 感じ方を学んでいない
- ④ すぐにめげたり、投げやりになり
自己安定感が弱い
- ⑤ 恥や自尊心といった社会的な感情が未熟
- ⑥ 段取りを立てたり見通しを持つのが苦手
- ⑦ 自信がない
- ⑧ 新しい活動・変化が苦手
- ⑨ 過去を振り返るのが苦手
- ⑩ 感情のコントロールが苦手
- ⑪ 生活のリズムが乱れている

知的障がいとその他の障がい群



自己決定と意思決定支援

自己決定 self-determination
意思決定 decision making

Decision = 結論 決定事項 決定
Making = つくる ～ i n g (進行形)

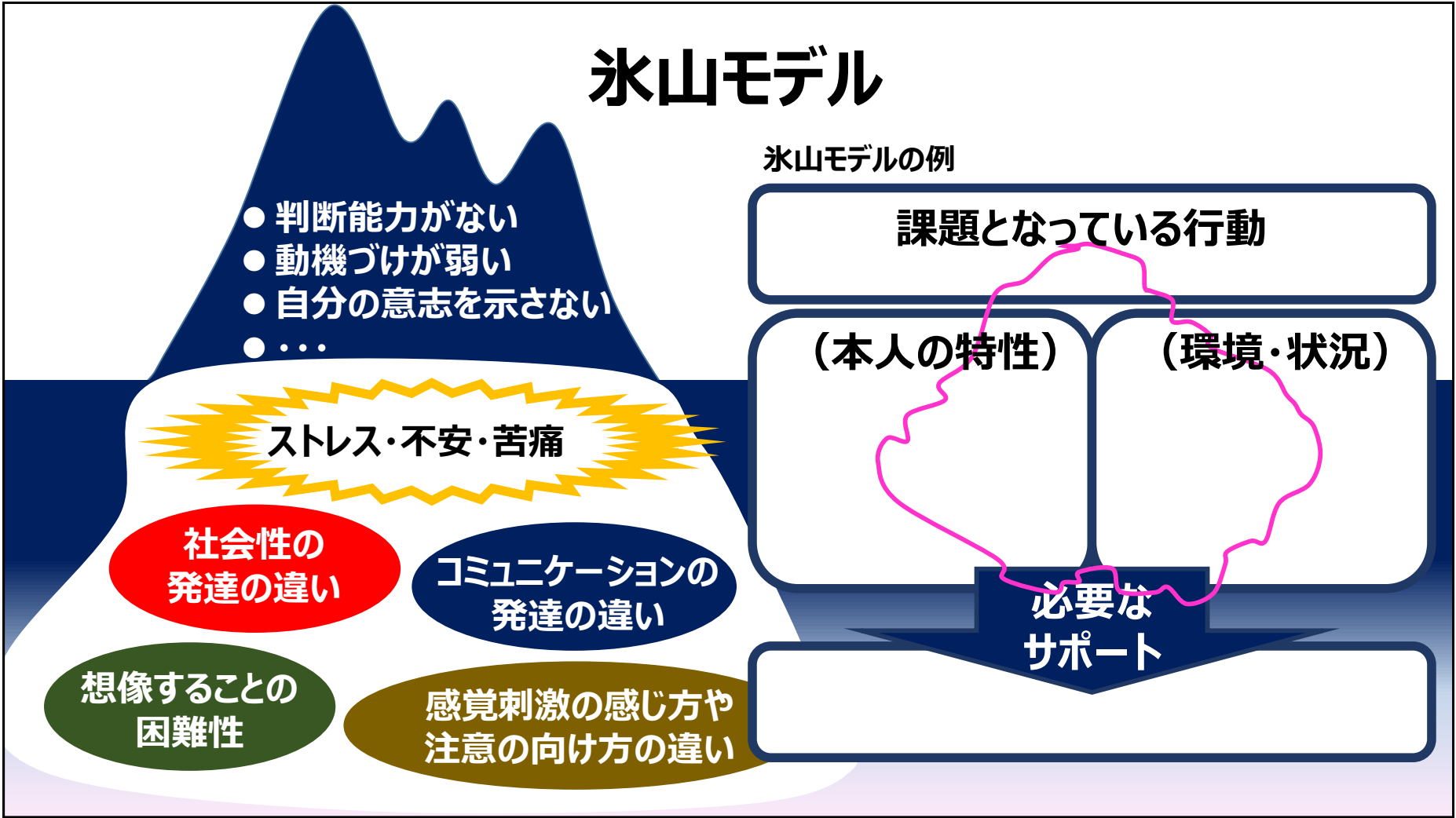
**他者や環境との相互作用の中で形成される
先の見通しをもった思い 意思 感情など**

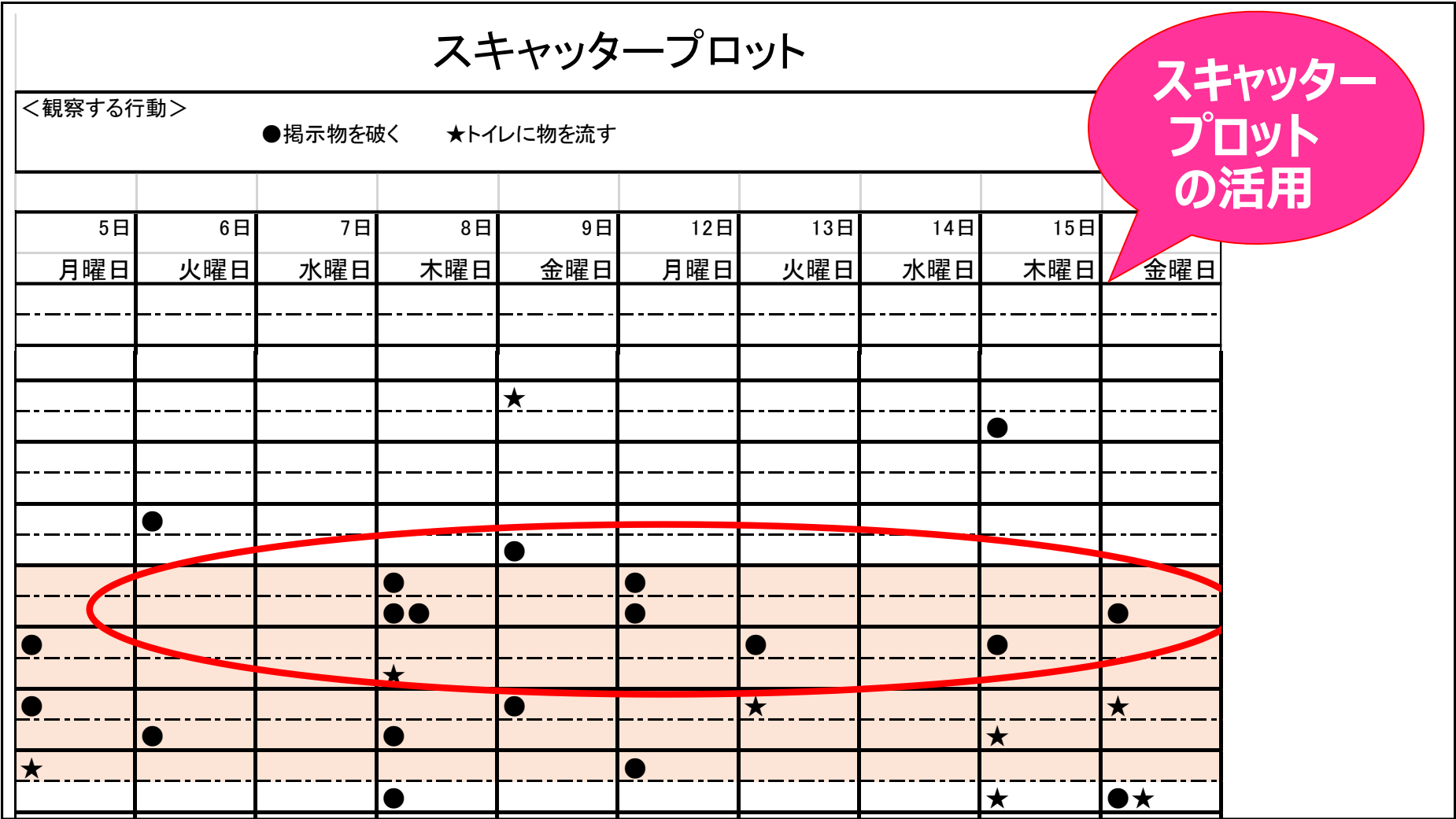
「ニーズ把握の困難な利用者」

言語で表現できない = 「意思がない」 わけではない

言語のみに頼らず、あらゆる方法で、本人の「ねがい」「希望」「気持ち」を聴く。声なき声に耳を傾ける。

対人援助職種の重要な役割になる **アドボカジー**の実践である





スキャッター
プロット
の活用

ストレングスモデル

ストレングス・好きなこと

- ◆ 体力がある
- ◆ ウォーキングや園芸といった体を動かす活動が好き
- ◆ 机上作業にも取り組むことができる
- ◆ 写真の理解が得意
- ◆ 手先が器用

苦手なこと・嫌いなこと

- ◆ 予定がわからないと不安が強くなる
- ◆ 口頭だけでの理解は難しく、興奮してしまう
- ◆ 気になっていることを止めると興奮してしまう
- ◆ 自分のペースを乱されるのが苦手



私の気持ちシート

職員間で、Aさんの立場、気持ちになって考えてみよう～！

私の不安や不快、悲しみ

私が好きなこと・嬉しいこと

さん

こうしてほしい

職員へのお願い、親に望むこと

パニックの前兆など

本人を中心に複数で合議する

- 1) 本人に聞いてみる ⇒ 理解できる方法で、選択や指さし
- 2) 家族に聞いてみる ⇒ 家族の思いが本人の思いとは限らない
時には対立や不一致がある
- 3) チームで想像する ⇒ 日頃支援をしている支援者たちで、
本人の立場に立って想像を試みる
- 4) 観察や記録から
仮説を立てる ⇒ アセスメント

ま と め

- 面談において利用者意向を把握することが重要である
- 障がい特性を理解し、環境、情報、コミュニケーションの方法を吟味して、意思の確認をあらゆる場面で確認する作業の延長線上に面談がある（説明と同意ではない）
- ニーズの把握が困難な利用者の面談は
 - 日常生活の観察がいのち
 - 本人の行動から本人のしたいことやニーズが見えてくる
 - 本人を中心に複数で合議する